

2012年8月14日

報道関係各位

株式会社 U B I C  
代表取締役社長 守本 正宏  
東京都港区港南 2-12-23  
(コード番号： 2158 東証マザーズ)

## 新機能搭載の自社開発システム Lit i View の v5.0 をリリース

株式会社 UBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 UBIC）はこの度、eディスカバリ証拠開示・支援システム「Lit i View」（リット・アイ・ビュー）のバージョン 5.0 の提供を開始いたします。

Lit i View バージョン 5.0 ではお客様からのフィードバックを基にデザインされた新しいグラフィカル・ユーザー・インターフェイス(GUI)を搭載したことにより、アイコンやレイアウトが大幅に改良されました。GUI 改良により、各機能間がスムーズにつながるようになったほか、新バージョンでは Lit i View ユーザーがディスカバリ全工程における作業効率を上げる新機能が複数搭載され、また、既存の機能に対しても改良が加えられています。主な特徴は以下の通りです。

### Lit i View v5.0 の主な特徴

#### ユーザー管理機能の強化：

セキュリティを強化するため、ユーザーがパスワードを設定する際、安全性の高い強力なパスワードの設定を可能とするユーザー機能の追加が行われました。

#### 検索機能 (Search function)：

新機能であるタグ操作の履歴検索に加えて多言語検索の速度がバージョン 4.0 と比べ、4 倍\*速くなっています。

#### データ出力機能 (Export function)：

インターネットエクスプローラー (IE) 経由でドキュメントをダウンロードする機能が改良されています。特筆すべき機能としてデータ出力時に Privilege タグが付けられている秘匿特権文書を出力できないようにする機能 (Privilege Alert) があります。なお、どのドキュメントが対象かを出力リストで確認することも可能です。

#### 文書閲覧機能 (Review)：

メール本文とメール添付ファイルも一括してタグ付する機能 (Family Tagging)、ドキュメントのロード時間の短縮化、類似文書抽出機能 (Near duplicates) など、レビュー作業の品質向上はもちろん、作業スピードを加速させるさまざまな新機能を搭載しています。

#### 一括印刷機能 (Batch Printing)：

ドキュメント群全体、もしくは選択した複数のドキュメントを一括で印刷することが可能です。

#### 文書絞り込み機能 (Culling)：

Linux dd、エンケースなどのイメージファイルからデータの取り込みが行えるようになりました。また、取り込み時に指定されたファイルパスによる絞り込み、特定の拡張子の取り込み・除外、0 バイトサイズファイルの除外ができるようになりました。

#### プレディクティブ・コーディング (Predictive Coding)：

Lit i View v4.0 に搭載された UBIC 独自開発の「Predictive Coding」機能により、他に類をみないアジア言語のレビュー作業において証拠開示対象となる可能性の高い文書を自動的に抽出します。短時間で効率的に見つけ出すことにより訴訟戦略を有利に進めるうえで大きく貢献することが可能です。

---

\* 当社調べによる

株式会社 UBIC の創業者であり、代表取締役社長である守本正宏はこの度の Lit i View v5.0 のリリースにあたり次のようにコメントしています。「私共が Lit i View v1.0 の発表をしてから 2 年弱の間に、弊社の Lit i View は著しい進化を遂げ、また、多くの導入実績をあげて参りました。このこと自体がディスカバリ業界の新規参入者であった私共 UBIC にとっては非常に大きな飛躍であったと考えております。この度、発表された Lit i View v5.0 は業界大手の他社製品に比肩するに値する製品だと自負しております。しかし、この状況に甘んずることなく、今後も引き続き、法律事務所や企業のおお客様のご要望に応えるディスカバリ業界のグローバルリーダーになるべく、お客様にとってより使いやすい Lit i View 開発のための投資、技術開発を惜しまずに社員一同邁進する所存です。」

#### 【UBIC リーガルクラウド】

シェアード・プライベート・クラウドとしてのサービス提供を基本としており、e ディスカバリ支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー)と、それを利用するための各種ソフトウェア環境を SaaS として提供するばかりでなく、さらに、それを利用したリーガルプロセス支援サービスまでをワンストップで提供します。セキュリティや冗長性といった安全面の機能を担保しながら、同時にシステム運用のコスト低減を実現します。

#### 【UBIC について】

代表取締役社長：守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23

URL: <http://www.ubic.co.jp/>

株式会社 UBIC は、国際的カルテル調査や連邦海外腐敗行為防止法 (FCPA) に関連する調査、知財訴訟、PL 訴訟などで要求される電子データの証拠保全及び調査・分析を行う e ディスカバリ事業 (電子証拠開示支援事業) のほか、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスを提供する、リーガルハイテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007 年 12 月米国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2009 年末には企業内でも国際訴訟における電子証拠開示が可能な電子証拠開示支援システム「Lit i View」(リット・アイ・ビュー) を自社開発し、2011 年 10 月からはクラウドサービスとして「UBIC リーガルクラウドサービス」の提供を開始。

2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。資本金 602,993,750 円 (2012 年 6 月 30 日現在)。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 UBIC 財務部 TEL: 03-5463-6344 FAX: 03-5463-6345